

(学年) 第2学年, (教科・科目) HR 活動・人権

協働学習

(単元) 普遍的な学習のテーマ・・・人権の尊重, 戦争と人権
個人人権課題名・・・障がい者

(本時のねらい)

パラスポーツを体験する活動を通して, 安全に, 公平にプレーできるように工夫されていることやその意義を理解させる。また, 障がい者の人権について身近に感じ, 他者を理解し認め合い, 多様性を尊重した社会を実現していことする態度を養う。

(ICT 活用方法)

本時では, パラリンピックを題材に, 共生社会への気付きを生徒に促す教材(国際パラリンピック委員会公認教材「I'mPOSSIBLE」)を使用して学習をする。学習を進めていく中で, 生徒からパラリンピックの種目を体験してみたいという要望や, 興味・関心を示すようになった。その背景に, 2021年にパラリンピックが日本で開催された影響力は大きいと考えられる。この機会に障がい者の人権について, 身近な問題として考えさせたい。そのためにも, 東京パラリンピックにおけるボッチャの動画を視聴した上で, 東京パラリンピックの趣旨について, 説明し, 多様性の尊重や他者への共感・思いやりの態度を培うという趣旨を理解させる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 東京パラリンピックにおけるボッチャの動画を視聴し, 大会の趣旨について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画を視聴させ, 東京パラリンピックの趣旨について考えさせ, 説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭での説明だけでなく, 映像や音声によって実際のプレーの臨場感を感じさせるために, 動画を視聴させる。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ボッチャが考案された由来やルールについて理解する。 練習, 試合を通して, 障がいの特性に気付くとともに, 仲間と協力することの大切さを理解する。 投げ方を練習する。 チームの仲間と戦略を練る。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技をすることで, 障がい者の特性を体感させ, 明るい雰囲気を取り組めるよう, 適宜声かけをする。 チームごとに投げってみて, どのように転がるのかを把握させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて, 動画を何度でも視聴できるようにするなど, 見せ方に工夫する。 障がいの種類や程度に関わらず競技を楽しく安全に, 公平に競うことができるように工夫されていることを, 映像を通して実感させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 試合を行う。 (立位) (車椅子) (車椅子+ランプ使用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいがある人もない人もすべての人が楽しむことができるスポーツであることに気付かせる。 	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習で感じたことや考えをチームで意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者への理解や共感, 多様性を尊重した社会を実現していくために行動していくことの大切さを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の活動の映像記録等も見返しながら, 本時の振り返りをする。

(授業の様子)



映像を視聴することで, 競技への理解を深める。



実際にプレーを体験する様子

(生徒の反応と課題, 改善を要する点)

障がいの種類や程度に関わらず競技を楽しく安全に, 公平に競うことができるように工夫されていることを, 映像を通して実感することができていた。また, 必要に応じて, 動画を何度でも視聴できるよう, 見せ方を工夫することで, 生徒の興味関心を引き出すことができた。さらに, 互いの試合を生徒端末等で録画し, それを再生して視聴しながら試合の流れを振り返らせることで, 学びの深化に活かすことができた。

今後も, より効果的な利用法について検討を進めていきたい。